

2. 技術的側面からみた住宅改造の現状と課題

2-1. 1993年度府下市町村住宅改造助成事業の実施概要

ここでは、1993年度の大阪府の高齢者・重度身体障害者住宅改造助成モデル事業を取り上げ、この事業の利用者に対して、事業完了後に行った郵送調査、及び一定期間をおいて、家庭訪問により行ったフォローアップ調査の結果を解析、及び集計したものである。以下に郵送調査、フォローアップ調査の概要を示す。

(1) 郵送調査

① 調査数

守口市 10件	岸和田市 17件	豊中市 19件
大東市 3件	羽曳野市 1件	四条畷市 8件
松原市 5件	河南町 3件	枚方市 16件
柏原市 7件	泉大津市 5件	太子町 0件
計 94件		

② 調査期間

平成6年1月～3月

③ 調査項目

- ・対象者の基本属性
- ・心身の状況
- ・介護者の状況
- ・住宅改造期間
- ・住宅改造費用
- ・福祉機器の利用状況
- ・専門職の関与
- ・住宅改造内容・改造効果
- ・住宅改造の問題点

(2) フォローアップ調査

① 調査数

守口市 10件	岸和田市 5件	豊中市 5件
大東市 4件	羽曳野市 6件	四条畷市 3件
松原市 3件	河南町 0件	枚方市 0件
柏原市 0件	泉大津市 7件	太子町 3件
計 46件		

② 調査期間

平成6年2月～3月

③ 調査項目

- ・助成制度を知った方法
- ・住宅改造目的・改造内容・改造効果
- ・本人・家族の主観評価

なお、次頁より載せる表-20は、第一次調査分の89事例である。その後、第二次調査分の26事例を合わせ、全115事例で統計結果を出し考察した。

表20 平成5年度住宅改造成績モデル事業調査対象事業の概要

(No. 1)

No.	性	年齢	住宅形態	原因疾患	障害名	主な改修課題	改修内容	改修費用(円)	改修効果
1	女	80	持家	リウマチ・骨関節疾患・その他(胃?)		家屋内移動	B2, 玄関というより、居室から土間(炊事場)への大きな段差の緩和工事、手すりはつけていない。	¥121,540	独居のため、日常の炊事で必ず通るルートである。元々の段差が大きく、踏台を設置することで何とか一人で行き来できるようになった。
2	男	68	持家	脳卒中(脳卒中)	左片麻痺	トイレ	B1, B4, B7, O1, W1, W4, W7, E7	¥2,837,000	風呂、トイレ、洗面所などが使いやすいものになり、妻の介護が軽減された。
3	男	75	持家	パーキンソン病・神経疾患	下肢対麻痺	トイレ	B4, B6, W7, 玄関・風呂場までの渡り廊下設置、トイレ床上げ	¥479,000	家の中の段差解消により、トイレ・風呂への移動が楽にできるようになった。
4	男	65	借家	脳卒中(脳梗塞)	左片麻痺	入浴	B2, B4, B5, O2	¥450,520	風呂場内の段差解消、室内移動線路上に手すりを設置したことで、片麻痺で歩行困難な状態ではあるが、少しでも安全に移動できるようになった。
5	女	66	持家	脳卒中(脳出血)	四肢・体幹麻痺	トイレ	O1, O2, W2, W7 トイレ水栓工事(補助対象外)	¥896,100	和式トイレを洋式トイレにしたことで、楽に使えるようになった。また、手すりの設置により、安全に移動でき、ベッドから起き上がる回数が増えた。
6	男	68	借家	リウマチ・骨関節疾患(変形性膝関節症)	四肢変形・関節可動制限	トイレ	W2	¥164,388	トイレをウォッシュレットにしたことで、排便後の後始末が容易に、清潔にできるようになった。
7	男	68	持家	脳卒中(脳梗塞)	四肢・体幹麻痺	トイレ	B4, W2, W7, B6	¥356,380	トイレをウォッシュレットにしたことで、後始末の時点で妻が非常に楽になった。玄関外段差をスロープにし、車いすの移動が楽にできるようになり、全体として妻の介護の軽減になった。
8	女	64	持家	パーキンソン病・神経疾患(パーキンソン病)	四肢・体幹麻痺	トイレ	B4, B5, W2, W7, E3	¥484,100	便器を洋式ウォッシュレットにし、トイレ、風呂場、玄関に手すりを設置したことで、家の中で移動が安全にできるようになった。
9	男	72	持家	心疾患・高血圧・パーキンソン病	その他 内部障害	トイレ	B4, W1, W7	¥486,675	和式トイレを洋式にし、手すりを付けたことで立ち上がりが非常に楽になり、呼吸器疾患にも効果的である。
10	女	64	持家	パーキンソン病・神経疾患・リウマチ・骨関節疾患	四肢・体幹麻痺 疼痛 四肢変形・関節可動制限	トイレ	W1, W7, 敷居の取り除き、トイレの水流化工事(補助対象外)	¥643,750	腰が曲がりやすく、和式トイレは非常に使いにくかったが、洋式・ウォッシュレットに変えたことで、足が楽になり、後始末の必要もなくなり、手にかかる負担も少なくなった。

No	性	年齢	住宅形態	原因疾患	障害名	主な改造課題	改造内容	改造費用(円)	改造効果
11	女	97	持家	老衰	体力低下	入浴	B1, B6	¥522,725	入口のドアが広くなり、介助をしながらの出入りがしやすくなった。
12	男	77	持家	老衰	体力低下	トイレ	W9, E3, W1アコーディオンカーテン、腰掛け便座	¥73,500	ヘルパーも週4日(曜日によっては午前、午後)派遣しているが、ある程度自力で動ける条件がなければ夫婦で特異のケースである。少しでも長く、在宅生活を維持できると期待している。
13	男	87	借家	リウマチ・骨関節疾患	疼痛(腰痛)	トイレ	W1, W7, W5	¥283,035	妻の介護が軽減される。
14	男	79	持家	脳卒中(脳血栓)	左片麻痺	入浴	B1, B6, B7	¥1,069,580	妻がうまく介護しており、この状態を維持できれば充分在宅で生活可能である。
15	男	86	持家	リウマチ・骨関節疾患(腰椎変形症)	疼痛(腰痛)	トイレ	B3, B4, W2, W6, W7, W9 (汚物洗浄機)	¥77,900	
16	男	74	借家			入浴	B1, B6, B9, E3 シャワー設置	¥302,200	おむつをしているため、いつも清潔を保っておかなければならない。シャワーを設置することにより、清潔を保ち、他の病気になることを防止できる。
17	女	91	持家	老衰	その他 (体力低下)	トイレ	K4, W7, B4, B6, E7, E8 玄関から道路へ出る所に歩道のためのコンクリートガードが設けられているが、車いす等を使用して外出する時にそのガードが邪魔をして道路へ出る事ができない為、それを一部取り除いた。	¥21,000	居室や浴室等にある敷居に小さなスロープを取り付けた。事により、その段差をなくし、転倒の危険を解消した。浴槽が深く入浴しづらかったが、木製の浴槽であったため、浴槽内に踏板を2段設けることで楽に入浴することができるようになった。又、浴室及びトイレに手すりを取り付け転倒の危険を解消した。玄関外にある小さな段差は、踏板を敷き段差をなくした。その他、コンクリートガードの一部取り除きで、道路へ容易に出ることができるようになった。
18	女	76	借家	脳卒中	右片麻痺	トイレ	K1, W5, W7, B4, O1	¥498,829	居室を和室からフローリングとする事により、敷居の段差がなくなり、室内をスムーズに移動できるようになり、転倒の恐れがなくなった。また、浴室及びトイレに手すりを取り付けることにより、入浴、トイレが楽に行なえるようになった。

高 齢 者 世 帯

No.	性	年齢	住宅形態	原因疾患	障害名	主な改造課題	改造内容	改造費用(円)	改造効果
19	男	72	持家	老衰 その他	体力低下 視覚障害	就寝	K1, K8 2階建て住宅であるが、1Fでタバコ屋を営んでいるため、2Fで生活していたが、高齢のため、階段の昇降が困難になってきた。トイレや浴室が1Fにあるため、1Fの店を縮小し、1Fにある和室を拡張することで、1Fで生活できるようにした。	¥1,166,166	本人は目に障害があり、介護者である妻も右足に障害があるため、2Fでの生活は困難であった。1Fで生活できる事により、妻の介護負担の軽減が図られ、本人もトイレ等の移動が楽になる。
20	女	68	持家	リウマチ・骨関節疾患	疼痛 四肢変形・関節可動制限	トイレ	W1, W5, W7	¥478,044	和式便器を洋式便器に取り替え、手すりを取り付ける事により、腰への負担が減り、トイレが容易にできるようになった。また、床をフローリングとしたことにより、居室とトイレ及びトイレ入口の敷居の段差がなくなり移動が楽になった。
21	男	69	持家	リウマチ・骨関節疾患	疼痛 四肢変形・関節可動制限	トイレ	W1, W7	¥420,020	和式便器を洋式便器に取り替え、手すりを取り付ける事により、腰への負担が減り、トイレが容易にできる。
22	男	78	持家	脳卒中	左片麻痺	入浴	B2, B5, B6, E7, K4, K8 ふすま等をアコーディオンカーテンに	¥180,000	外出の機会が増え、室内で車いす移動が楽になる。風呂の出入りがスムーズになった。体力がない妻の介護負担が軽減された。風呂場の出入口の拡大が構造的に大掛りになるため、断念。費用が出せない。
23	女	70	持家		視覚障害	トイレ	W1	¥254,770	排便の失敗がほとんどなくなる。
24	女	70	持家	骨折(左大腿骨頰部骨折)	四肢変形・関節可動制限	玄関出入	B5, B6, B8 玄関板の間の拡大	¥208,000	外出介助が容易になる。
25	女	72	持家	脳卒中 老衰	右片麻痺 疼痛	入浴	B1, B2, B4, B6, B9 シャワ一の設置	¥554,930	入浴が安全に実施できる。
26	男	66	持家	脳卒中	左片麻痺 言語障害	入浴	B2, B6, E5, E6 浴室の出入口の拡張、車いす用洗面台設置	¥482,400	外出時の負担軽減。
27	女	84	借家	老衰		入浴	B1, B2	¥463,500	浴室の段差解消をしたため、入浴が容易になり、併せて浴槽を広くしたため、入浴が快適になった。

高 齢 者 世 帯

No.	性別	年齢	住宅形態	原因疾患	障害名	主な改造課題	改造内容	改造費用(円)	改造効果
28	女	77	持家		下肢対麻痺	入浴	B1, B2, B4, B6, W1, W2, W7, W9 段差解消	¥1,430,443	浴槽をTOTOのいたわり浴槽(身障者、高齢者用)に変更したため、入浴が快適になり、手すりを2箇所取付けたことにより入浴が容易になった。また、トイレを段差のある和式のものより、段差の無い洋式のウォッシュレットに変更し、手すりも取り付けたので排便が容易になった。
29	女	77	借家	リウマチ・骨関節疾患	四肢変形・関節可動制限	入浴	B1, B2, B3, B4	¥227,000	浴室の段差解消、手すり取り付付けにより、入浴時の不安が解消された。浴槽の変更により入浴が快適になった。
30	女	83	持家	骨折	四肢変形・関節可動制限	入浴	B1, B2, B4, B5, B7, B8, 1, 08 洗面所の新設	¥1,544,588	浴室の改造により、介助は必要となるものの、入浴が容易かつ快適となった。段差解消により室内の移動が楽になった。
31	女	69	持家	老衰		入浴	B1, B4, B8	¥541,635	
32	男	68	持家	リウマチ・骨関節疾患(多発性関節炎)	四肢変形・関節可動制限(両下肢機能障害)		K1, K3, E2, B4, B6, B7, B8	¥3,605,000	手すり及び車いすでの入浴が可能のように改善したため、自力入浴が可能となった。食事が台所横の和室であったため、立ち座りが困難であったが、ワンフロアにすることによりいすでの食事が可能となった。
33	女	70	持家	リウマチ・骨関節疾患	四肢変形・関節可動制限	入浴	B1, B2, B4, B6	¥959,000	浴槽が浅くなり、またぎやすくなった。入口ドアを折り戸にしたので、有効スペースが拡大した。
34	男	66	持家	老衰 リウマチ・骨関節疾患	四肢変形・関節可動制限 体力低下	トイレ	W2, W5, W7, E1, E3, B4	¥598,680	日常生活動作はすべて自分でできるが、全体的に虚弱なため、改造により日常生活が楽になった。
35	男		持家	老衰		トイレ	W1, W4, W7	¥595,500	トイレが、屋外にあったため、不便で夜間は転倒等の危険があり、屋内にトイレを設置することにより、転倒等の危険を予防できる。浴室も外にあるが、費用負担がでないため改築できなかった。
36	女	86	持家			トイレ	B4, W7	¥113,200	
37	男	68	持家			トイレ	W1	¥241,700	スムーズに用が足せるようになる。

No.	性	年齢	住宅形態	原因疾患	障害名	主な改造課題	改造内容	改造費用(円)	改造効果
38	男	77	持家			階段昇降	K2, K3, O3, O7	1, 644, 000	階段の上り降りが楽になった。
39	男	67	持家	リュウマチ・骨関節疾患	疼痛 腰痛	トイレ	W1	490, 000	スムーズに用が足せる。
40	男	79	持家		視覚障害	入浴	B1	1, 500, 000	自分で入浴可。
41	男	71	持家	脳卒中	右片麻痺	トイレ	O2, B4, W7, W2	669, 000	スムーズに用が足せる。
42	男	71	持家	心疾患・高血圧		入浴	B1	359, 470	
43	男	76	持家	老衰	体力低下	トイレ	W1	700, 000	
44	男	74	持家	その他 変形性脊椎症	疼痛 四肢・体幹麻痺	入浴	B1, B4, W7	1, 060, 900	妻の介助により入浴できるようになる。
45			持家	骨折	四肢変形・関節可 動制限	入浴	B1		何とか一人で入浴可。
46	女	65	持家	リュウマチ・骨関節 疾患	四肢変形・関節可 動制限	トイレ	W2, W1	546, 850	自力でトイレ可。
47	女	72	持家	脳卒中 脳梗塞	左片麻痺	家屋内移動	B3, B4, O2, W7	444, 960	室内での移動が楽になり、介護が軽減された。
48	男	76	持家	その他 脱肛	その他 座位・立ち上がり 不自由	トイレ	W2	792, 945	スムーズに用が足せる。

高

齢

者

世

帯

No.	性	年齢	住宅形態	原因疾患	障害名	主な改造課題	改造内容	改造費用(円)	改造効果
49	男	70	持家	その他 変形性頸椎症	四肢・体幹麻痺	玄関出入	W8, B4	¥334,750	玄関から門までの上り降りが楽になった。
50	女	85	持家	老衰		玄関出入	B5, B7, 07 廊下及び根太 取り替え	¥124,115	玄関から道路への出入りで、けつまづく危険が解消された。玄関ドアのガタツキがなくなり、住居の防犯面が改善された。廊下のきしみ、へこみが無くなり安全性が高まった。
51	女	69	持家	不明	四肢変形・関節可 動制限	入浴	B4, B5, B9, E3 浴室狭い場 の勾配をゆるくする。玄 関と勝手口に手すり	¥226,188	浴室の安全性向上、介護負担の軽減
52	男	83	持家	不明	不明	就寝	K8 居室の天井。屋根の 改善、換気孔の設置、窓 の拡張、出入口の設置	¥500,000	夏期の室温上昇が押えられた。デイサービスへの送迎が便利になった。
53	女	70	持家	リウマチ・骨関節 疾患	四肢変形・関節可 動制限 正座出来ない	トイレ	B1, B4, B7, W1	¥3,259,950	浴槽が箱型で、踏台を使って入浴していたが、風呂を浅く広くし、手すりを取り付けたので、楽に入浴できるようになった。
54	女	94	持家	老衰		トイレ	K8, B4, B5, 02, W7, E3	¥236,591	介護にあたる長男も高齢者で、介護の軽減が図れる。浴室への手すり取付けとシャワーチェアの利用で、自宅で入浴が可能となった。(デイサービス時の入浴のみであった)
55	女	68	持家	老衰	体力低下	入浴	B4, B9, 03 浴室の床を滑り にくい材料に変更	¥181,228	浴室での転倒危険が解消。手すりによって浴槽への出入りが容易になる。階段手すりでの安全性が高まった。A D Lは当初から自立、将来の危険性に対応して改善。
56	女	75	持家	リウマチ・骨関節 疾患	四肢変形・関節可 動制限	トイレ	02, 03, W6, W7 ドアをアコ ーデオカンカーテンにし た	¥569,460	
57	女	74	持家	リウマチ・骨関節 疾患	四肢変形・関節可 動制限	トイレ	03, W1, W7, E3	¥493,267	膝の障害による動作の困難・危険が解消された。
1	男	57	持家	パーキンソン病・ 神経疾患 その他 アルツハイマー病	四肢・体幹麻痺 その他 知的能力低下	トイレ	K4, K8, W1, W7 道路までの 通路設置(コンクリート 打ち)、ミニスロープ設 置	¥644,800	寝たきりの対象者を車いすですで外出させることができた。また、トイレでの介助が楽になった。
2	男	69	持家	心疾患・高血圧 陳旧性心筋梗塞	内部障害 体力低下	入浴	B1, 03	¥677,500	入浴しやすくなった。

No.	性	年齢	住宅形態	原因疾患	障害名	主な改造課題	改造内容	改造費用(円)	改造効果
3	女	72	持家	リウマチ・骨関節疾患	視覚障害 体力低下 四肢変形・関節可動制限	入浴	K8, B1, O3, W7, B3	¥568,590	左膝機能障害で、ひとりで起き上がるのも苦勞していたが、入浴及び移動が楽になった。
4	男	13	持家	その他 二分脊椎・水頭症	下肢対麻痺	トイレ	W1, W7	¥685,156	便器を洋式ウォッシュレットにして手すりを設置することで、歩行困難の長男が介助なしで使用できるようになった。
5	男	54	持家	その他 (脊髄損傷)	下肢対麻痺	炊事	K1 洗面台、台所流し台を車いすで使用しやすいものに変更。	¥1,630,000	屋内が車いすで移動しやすくなった。
6	男	42	借家	脳性麻痺 その他(頸髄症)	四肢・体幹麻痺 上肢麻痺 座位不能	トイレ	K1, B1, B7, W1, W4	¥2,219,764	使いにくかったトイレ、風呂にひとりで入れるにいたった。
7	女	51	持家	リウマチ・骨関節疾患(慢性関節リウマチ)	四肢変形・関節可動制限 疼痛	トイレ	B1, B4, O3, W2, W7 (玄関チャイム)	¥692,110	階段に手すり設置、風呂場に手すり設置、トイレにウォッシュレット、便器の高さを調整したことで、安全にかつ身体に負担なく使用できるようになった。
8	女	51	持家	脳性麻痺 その他(先天性股関節脱臼)	下肢対麻痺・疼痛 四肢変形・関節可動制限	トイレ	K2, K4, B2, O1	¥434,732	台所、風呂場までの渡り廊下、居間の高さを同一にし、トイレ前の段差をスロープにしたことで屋内での移動が楽になり、身体の負担も軽くなった。
9	女	66	持家	パーキンソン病・神経疾患(パーキンソン病)	四肢・体幹麻痺	入浴	B1, B2, B4, B6	¥700,000	風呂場の入口が非常に狭く、風呂の中も使いにくいものであったが、改造により、風呂の介助が楽になった。
10	女	46	持家	パーキンソン病・神経疾患(進行性脊髄性筋萎縮症)	下肢対麻痺	トイレ	K3, K4, B3, B4, B6, W2, W7	¥300,000	自分ひとりでは全くといっていいほど動くことができず、ヘルパーが介助して家のなかをリクライニング車いすで移動するように考えたが、車いすを使うことが少なく、あまり役だっていない。
11	男	69	持家	脳卒中(脳梗塞)	右片麻痺	トイレ	B4, W1, W7 トイレ入口敷居の取り除き	¥515,000	トイレの段差でよく転んだりしたうえ、和式トイレに座り込んで立ってなくなったりしたことがあったが、敷居を取り除き、洋式トイレ・ウォッシュレットにしたことで、安全に楽にトイレを使用することができるようになった。

No.	性	年齢	住宅形態	原因疾患	障害名	主な改造課題	改造内容	改造費用(円)	改造効果
12	女	87	持家	骨折(大腿骨骨折)	四肢変形・関節可動制限(両下肢機能障害)	階段昇降	03.07.K2 階段を取り替 え	¥463,000	娘が引き取ったが、一階が仕事場になっている。デイサービスへの送迎にも二階から降りてこなくてはならず、非常に危険であった。そのため、階段を強くし、手すりを安全なものにした。両下肢のみの障害であるため、外出がスムーズに行なわれる。
13	男	49	持家	パーキンソン病・神経疾患(脊髄小脳変性症)	四肢・体幹麻痺 言語障害	トイレ	b4.W7.E3.02 予後予測	¥94,850	徐々に進んでいく難病のため、いつまで怪介助で生活できるのかは不明であるが、現在介助なしで生活できるように対応しておいた。
14	女	52	借家	リウマチ・骨関節疾患	四肢変形・関節可動制限 疼痛	トイレ	W1.W5.W7.W9 ウォッシュレット、床張り替え(タイレル)、入口の段差を取り除く	¥515,314	両上下肢機能障害ということで、排泄のすべての動作が困難ではあるが、改善の効果としては、便座からの立ち上がりが容易になったことと、ウォッシュレットにより排泄の後始末が容易になったことが挙げられる。
15	女	53	持家	脳卒中	右片麻痺 言語障害	家屋内移動	K2.K3 居室の床張り替え、敷居の取り除き	¥628,300	車いすを常時使用する本人にとっても、家屋内を容易に移動することが可能になった。
16	男	53	持家		視覚障害 その他(右下肢機能障害)	トイレ	W7.07.E1.03 トイレ手すり、ペランダ入口踏台取り付け、風呂・風呂～居間通路設置、階段手すり、2F物置に台所設置	¥495,640	本人以外の家族も、姉が体幹機能障害1級、母が高齢者ということ、家族全員の生活環境そのものが改善された。
17	女	74	持家	脳卒中	左片麻痺	階段昇降	04 階段昇降機設置	¥782,800	家屋の1Fが旧店舗状態であることから、2Fで生活しており、通院や買物など外出するたびに困難な階段昇降をしなければいけなかったが、今回の改造により解消されると思われる。
18	男	73	持家	リウマチ・骨関節疾患(後縦韌帯硬化症)	四肢・体幹麻痺	玄関出入	E5.E6	¥195,700	玄関扉を引き違い戸から親子戸に替えることにより、車いすでの出入りが容易にできるようになる。また、玄関の上がり框には移動可能なスロープを設置し、車いすの移動ができるようになる。
19	男	64	持家	脳卒中	右片麻痺	トイレ	W1		
20	男	44	持家	脳卒中	左片麻痺	トイレ	W1		

No.	性	年齢	住宅形態	原因疾患	障害名	主な改造課題	改造内容	改造費用(円)	改造効果
21	男	52	持家	脳卒中	四肢・体幹麻痺	入浴	E7		
22	男	60	持家		四肢・体幹麻痺	家屋内移動	K4, B2, B4, E6		
23	男	74	持家	脳卒中	右片麻痺	入浴	B1, B4, B6, B9, W5, W7	¥601,952	手すりをもっての入浴が介護者の負担の軽減を図れたこと、本人の自立性を引き出させたことである。
24	女	72	借家	パーキンソン病・神経疾患	四肢・体幹麻痺	入浴	B2, B6, B4	¥184,576	介護者の入浴介助負担の軽減を図ることにつながった。
25	男	58	持家	脳卒中	四肢・体幹麻痺	入浴	B2, B6, B9 (浴室) 車いすで入れられるように段差解消、入口の拡張、水切り溝のためタイル張り替え。	¥460,616	今までは、訪問入浴を実施していたが、冬は寒く、改造により浴室で入ることが出来るようになった。
26	女	76	借家	その他(脊髄損傷)	四肢・体幹麻痺	炊事	B5, E7, E8 玄関口、台所の床張り替え	¥303,340	玄関の出入りで手の甲が当たっていたのが、当たらなくなっただけで、出入りが楽になっている。床の張り替えにより、車いすの移動がスムーズになった。流し台の下を空けたことにより、正面を向いて使用できるようになった。
27	男	56	持家	その他(頸椎損傷)	四肢・体幹麻痺	トイレ	W2, W8, O5 ウォッシュレット、水栓金具変更(トイレ台所)	¥257,140	両上肢の手首が強直しているのに、トイレもきれいにやり入りやすくなった。
28	男	70	借家	脳卒中	右片麻痺 言語障害	トイレ	W1, W5, W7, W9 洗面器を移動	¥171,083	
29	男	71	借家	脳卒中	右片麻痺	トイレ	B1, B4, B6, W2, W7 洗面化粧台	¥700,400	改善により、かなり自力で生活が可能になった。
30	女	57	借家	脳卒中	右片麻痺 言語障害	トイレ	W7, W9, W1, W2 トイレ、浴室、居間階段差解消	¥699,277	介助面での負担が軽減され、家族も喜んでおられた。
31	男	65	借家	その他	四肢変形・関節可動制限	入浴	B3, B5, B9 シャワー設置	¥509,026	入浴が楽になった。
32	女	72	借家	その他	その他 右前腕欠損	入浴	B1 シャワー取付	¥760,140	入浴が楽になった。

2-1-1 対象者の性別、年齢、家族構成

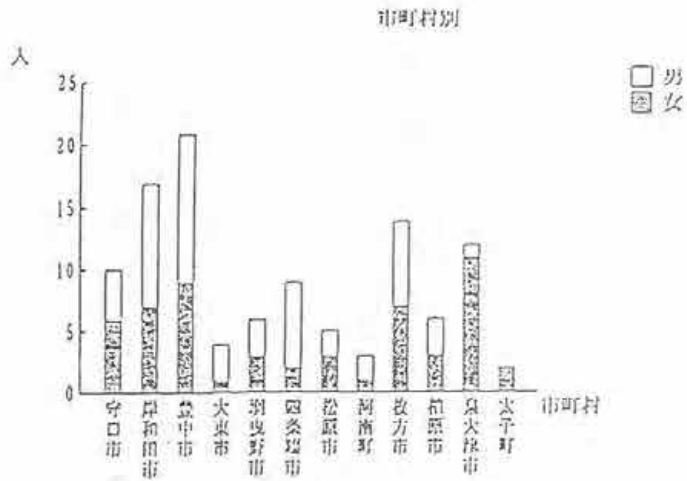
(A) 対象者の性別

市町村別 対象者の性別

市町村	男	女	計
守口市	4	6	10
岸和田市	10	7	17
豊中市	12	9	21
大東市	3	1	4
羽曳野市	3	3	6
四条畷市	7	2	9
松原市	2	3	5
河内町	2	1	3
枚方市	7	7	14
柏原市	3	3	6
泉大津市	1	11	12
太子町	0	2	2
計	54	55	109

(不明：5)

(単位：人)



図表 1-A

対象者の性別を市町村別に見たのが図表 1-A である。全事例での男女の割合を見ると、男女ほぼ同数である。市町村別に特徴的なものを見ると、四条畷市では男性が多く、泉大津市では女性が多くなっている。市町村によってどちらかに偏っているケースが見られる。

(B) 対象者の年齢

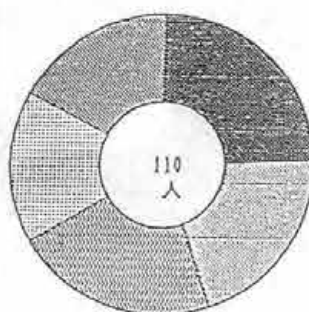
市町村別 対象者の年齢分布

市町村	～64	65～69	70～74	75～79	80～	計
守口	3	2	3	1	1	10
岸和田	9	5	1	1	1	17
登中	3	5	7	5	1	21
大東	0	1	3	0	0	4
羽曳野	0	0	3	1	2	6
四条畷	1	0	1	1	5	8
松原	0	2	2	1	0	5
河南町	1	1	1	0	0	3
枚方	6	3	1	1	4	15
柏原	2	1	2	1	0	6
泉大津	0	2	0	6	4	12
太子町	2	0	0	0	1	3
計	27	22	24	18	19	110

< 不明 : 5 >

(単位 : 人)

対象者の年齢



■	～64	27	24.5%
■	65～69	22	20.0%
■	70～74	24	21.8%
■	75～79	18	15.4%
■	81～	19	17.3%

図表 1 - B

対象者の年齢を市町村別に見たのが図表 1 - B である。全事例での年齢の統計を見ると、高齢者の中でも若い人が多く、69才以下で44.5%を占める。市町村別に特徴的なものを見ると、岸和田市では64才以下が半数を占めており、逆に四条畷市、泉大津市では高齢の人が多傾向である。また、枚方市は若い人と高齢の人の両極に偏っている。

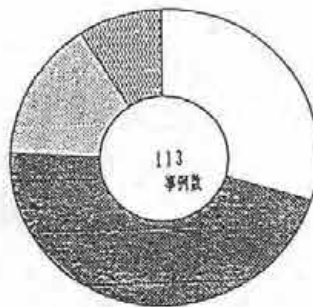
(C) 対象者の家族構成

市町村別 対象者の家族構成

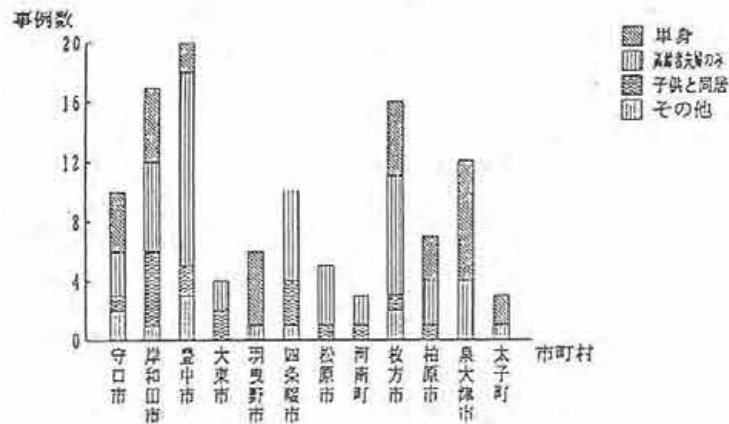
市町村	高齢	高齢	子と	その	計
	単身	夫婦	同居	他	
守口市	4	3	1	2	10
岸和田	5	6	5	1	17
豊中	2	13	2	3	20
大東	0	2	2	0	4
羽曳野	5	1	0	0	6
四條畷	0	6	3	1	10
松原	0	4	1	0	5
河南町	0	2	1	0	3
枚方	5	8	1	2	16
柏原	3	3	1	0	7
泉大津	8	4	0	0	12
太子町	2	0	0	1	3
計	34	52	17	10	113

<不明：2> (単位：人)

家族構成



市町村別



図表1-C

対象者の家族構成を市町村別に見たのが図表1-Cである。この事業の高齢者への対象世帯は、65才以上の単身世帯か高齢夫婦世帯に定められており、全事例での割合を見ると、単身世帯が34事例(30.1%)、高齢夫婦世帯が52事例(46.0%)であり、この両者を合わせて約3/4を占める。市町村別に特徴的なものを見ると、豊中市は高齢夫婦世帯に、羽曳野市は単身世帯にそれぞれ偏っている。

2-1-2 介護者の状況

(A) 介護者の続柄

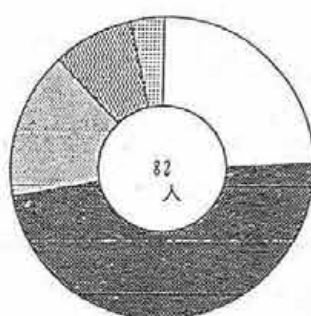
市町村別 介護者の続柄

市町村	夫	妻	子	親	その他	計
守口	1	3	1	1	0	6
岸和田	4	4	1	1	1	11
豊中	4	1	0	1	1	7
大東	0	2	2	0	0	4
羽曳野	0	1	2	1	0	4
四条畷	0	6	2	1	1	10
松原	3	2	0	0	0	5
河南町	1	2	0	0	0	3
枚方	3	6	1	1	0	11
柏原	1	2	0	0	0	3
四条畷	3	1	3	0	0	7
太子町	0	0	0	1	0	1
計	20	39	13	7	3	82

<不明：33>

(単位：人)

介護者の続柄



続柄	人数	割合
夫	20	24.4%
妻	39	47.6%
子供	13	15.9%
親	7	8.5%
その他	3	3.7%

図表 2-A

対象者の介護者の続柄を市町村別に見たのが図表 2-A である。全事例での割合を見ると、夫が20事例(24.4%)、妻が39事例(47.6%)となっており、配偶者が介護している場合が72.0%を占めることになる。また、子供が介護する事例も13事例(15.9%)と多く、その子供の年齢分布は次項で見ると、「その他」の3事例を具体的に見ていくと、岸和田市の1事例が「長男の妻」、豊中市の1事例が「姉」、四条畷市の1事例が「派遣のヘルパー」となっている。

(B) 子供が介護している事例のその子供の年齢分布

Value	Frequency
37	1
38	1
43	1
45	1
52	2
54	1
60	1
68	1
69	1
70	1
Missing	2
Total	13

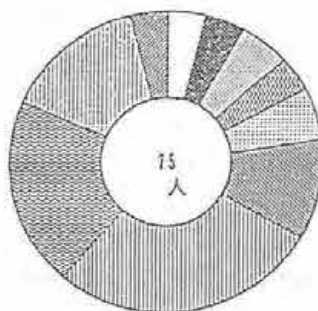
図表 2 - B

子供が介護している事例の年齢分布を見たのが図表 2 - B である。若い年齢層 (30, 40 代) も見られるが、60才を超える子供も目立つ。

(C) 主たる介護者の年齢分布

Value	Frequency
37	2
38	1
40	1
41	1
43	1
45	1
47	1
49	2
52	2
54	1
56	2
57	1
58	1
60	2
61	2
62	2
63	1
64	1
65	4
66	3
67	5
68	4
69	5
70	4
71	2
72	5
73	2
74	2
76	3
77	2
78	4
79	2
81	1
82	2
Missing	40
Total	115

介護者の年齢



□ ~39	3	4.0%
■ 40~44	3	4.0%
■ 45~49	4	5.3%
■ 50~54	3	4.0%
■ 55~59	4	5.3%
■ 60~64	8	10.7%
■ 65~69	21	28.0%
■ 70~74	15	20.0%
■ 75~79	11	14.7%
■ 80~	3	4.0%

図表 2 - C

主たる介護者全体の年齢分布を見たのが図表 2 - C である。60才以上の介護者が全体の約 3 / 4 を占めており、高齢者が高齢者を介護している事が分かる。

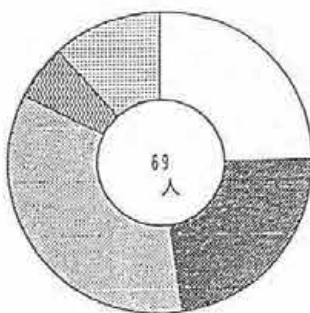
2-1-3 原因疾患別分布

市町村別 対象者の原因疾患

市町村	脳卒中	脳性麻痺、脳脊髄炎、パーキンソン病、痴呆症、てんかん、自閉症、発達障害	関節症、骨折、変形、損傷等	肺気腫、肺結核、肺繊維症、心筋梗塞	胃・腸病、老化、虚弱、視力の衰え	計
守口	1	1	3	0	2	7
岸和田	5	7	4	1	0	17
豊中	3	2	2	0	1	8
大東	1	2	1	0	0	4
羽曳野	0	0	0	0	1	1
四条畷	2	1	4	0	0	7
松原	2	0	1	0	1	4
河南	0	1	0	1	0	2
枚方	0	2	2	2	0	6
柏原	2	0	4	0	0	6
泉大津	1	0	3	0	3	7
太子	0	0	0	0	0	0
計	17	16	24	4	8	69

<不明：46>

(単位：人)



□ 脳卒中	17	24.6%
■ 脳性麻痺	16	23.2%
▨ 関節症	24	34.8%
▩ 肺結核	4	5.8%
▧ 胃、腸病	8	11.6%

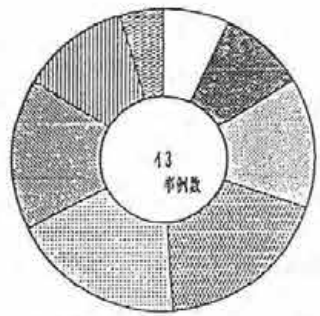
図表3-A

対象者の原因疾患を市町村別に見たのが図表3-Aである。一番多い事例が「関節・骨の変形、損傷等」の病気が24事例(34.8%)である。

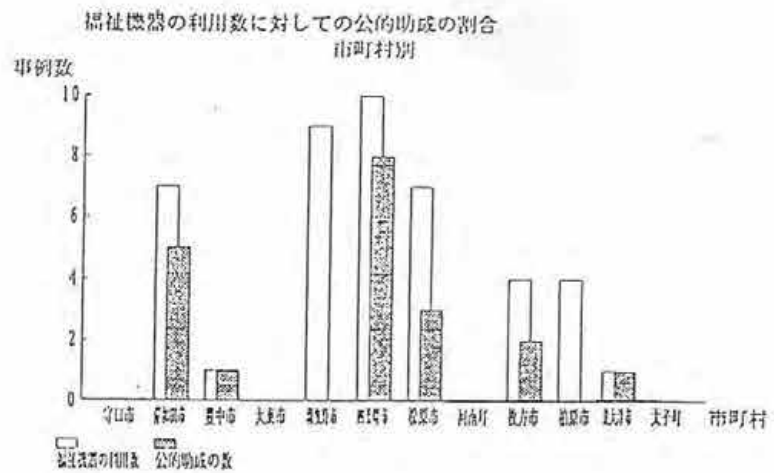
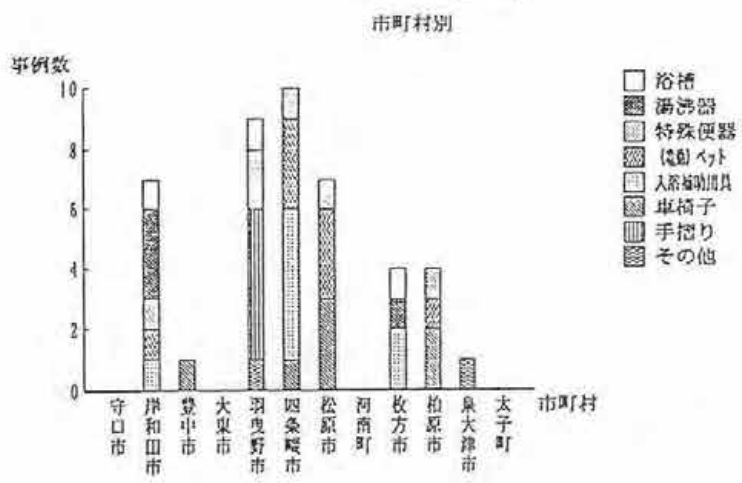
2-1-4 福祉機器の利用状況 及び公的助成の有無

市町村別 福祉機器の利用状況										1993年	
- 複数回答 -											
市町村	浴槽	湯沸器	特殊便器	電動ベット	入浴補助用具	車椅子	手摺り	その他	計	市/区	町/村
守口市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0
岸和田市	1	3	1	1	1	0	0	0	7	12	5
豊中市	0	0	0	0	0	1	0	0	1	20	2
大東市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
羽曳野市	1	0	2	0	0	0	5	1	10	6	0
四条畷市	0	0	1	3	5	1	0	0	10	2	8
松原市	0	0	1	3	0	3	0	0	10	2	3
河南町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
枚方市	1	1	0	0	2	0	0	0	4	14	2
柏原市	0	0	1	1	0	2	0	0	5	1	0
泉大津市	0	0	0	0	0	0	0	1	1	11	1
太子町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
計	3	4	6	8	8	7	5	2	48	90	25

< 不明 : 2 > (単位 : 事例)



浴槽	3	7.0%
湯沸器	4	9.3%
特殊便器	6	14.0%
電動ベット	8	18.5%
入浴補助用具	8	18.5%
車椅子	7	16.3%
手摺り	5	11.6%
その他	2	4.7%



図表 4-A

福祉機器の利用状況を市町村別に見たのが図表4-Aである。このアンケートは複数回答のため、1人で何個も利用している事例もある。結果を見ると、(電動)ベッド、入浴補助用具、車椅子の順で多く利用されている。ただ、福祉機器を全く利用していない事例が115事例中84事例(74.3%)もある。市町村別の特徴としては、岸和田市、羽曳野市、四条畷市、松原市などで利用が多い。

また、福祉機器利用時の公的助成の有無について見ると、公的助成を受けた事例が21事例(18.3%)と少ない。市町村別に見ると、四条畷市で公的助成を受けている事例が多く、逆に公的助成を受けた事例が0事例なのが5市町(守口、羽曳野、河南町、柏原、太子町)もある。ただ、この「公的助成」の項はアンケートの記入忘れが多いのではないかと思われる、「無」が90事例と多くなっている。

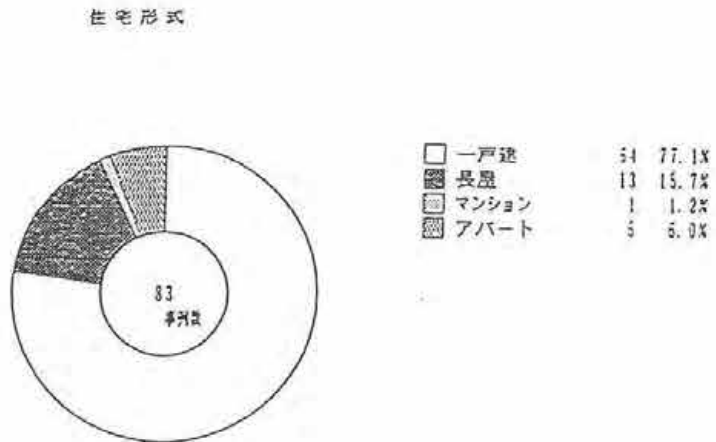
2-1-5 対象住宅について

(A) 住宅形式分布

市町村別		住宅形式				
市町村	一戸建	長屋	マンション	アパート	計	
守口	9	1	0	0	10	
岸和田	13	2	0	1	16	
豊中	16	1	0	1	18	
大東	2	0	0	1	3	
羽曳野	1	0	0	0	1	
四条畷	5	2	0	1	8	
松原	0	0	0	0	0	
河南町	3	0	0	0	3	
枚方	8	3	1	0	12	
柏原	5	2	0	0	7	
泉大津	2	2	0	1	5	
太子町	0	0	0	0	0	
計	64	13	1	5	83	

<不明: 32>

(単位: 人)



図表5-A

対象者が住む住宅の形態を市町村別に見たのが図表5-Aである。一戸建てが64事例(77.1%)であり、全体の約3/4を占める。長屋(15.7%)・マンション(1.2%)・アパート(6.0%)等の連続住宅や共同住宅は3つ合わせて19事例(22.9%)となる。

(B) 住宅の権利関係

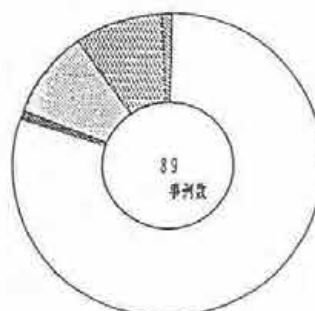
市町村別 対象住宅

市町村	持家	公団	公営	民営	社宅	その他	計
守口	7	0	0	1	0	1	9
岸和田	14	1	1	1	0	0	17
豊中	13	0	2	3	0	0	18
大東	2	0	1	0	0	0	3
羽曳野	1	0	0	0	0	0	1
四條畷	6	0	1	1	0	0	8
松原	5	0	0	0	0	0	5
河津町	3	0	0	0	0	0	3
枚方	12	0	1	0	0	0	13
柏原	5	0	0	2	0	0	7
泉大津	3	0	2	0	0	0	5
太子町	0	0	0	0	0	0	0
計	71	1	8	8	0	1	89

< 不明 : 2.6 >

(単位: 事例)

対象住宅



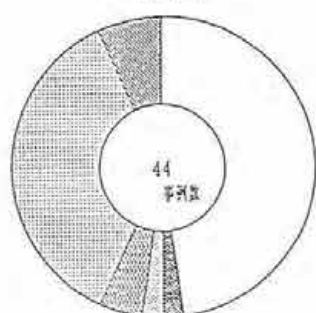
持家	71	79.8%
公団	1	1.1%
公営	8	9.0%
民営	8	9.0%
社宅	0	0.0%
その他	1	1.1%

図表 5-B

改造対象となる家の権利関係（持家か借家か）を市町村別に見たのが図表 5-B である。「持家」が71事例（79.8%）と一番多い。そして、「公営」「民営」が8事例（9.0%）、「公団」「その他」が1事例（1.1%）と続く。守口市の「その他」の1事例は『娘名義の借家』であった。

2-1-6 助成制度を知った方法

助成制度を知った方法



市の広報	21	47.7%
市の窓口	1	2.3%
友人・知人	1	2.3%
関係職員	2	4.5%
訪問ヘルパー	16	36.4%
その他	3	6.8%

図表 6-A

市町村別 助成制度を知った方法

市町村	市の公報で	市の窓口で	友人、知人	病院の職員	制度の利用者	新聞、テレビ	保健婦ヘルパ	その他	計
守口	9	0	0	0	0	0	1	0	10
岸和田	0	0	0	0	0	0	3	0	3
豊中	3	0	1	0	0	0	0	1	5
大東	2	0	0	0	0	0	1	1	4
羽曳野	0	1	0	0	0	0	5	0	6
四条畷	0	0	0	0	0	0	3	0	3
松原	0	0	0	2	0	0	0	1	3
河南町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
枚方	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柏原	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉大津	7	0	0	0	0	0	0	0	7
太子町	0	0	0	0	0	0	3	0	3
計	21	1	1	2	0	0	16	3	44

<不明：11>

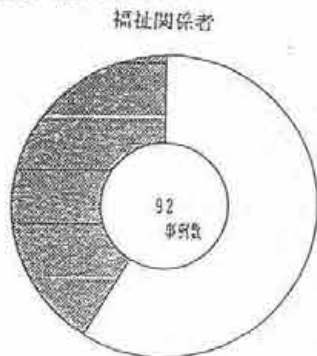
(単位：人)

図表 6-A

助成制度を知った方法を市町村別に見たのが図表 6-Aである。助成制度を知った方法は、「市の公報より」21事例(47.7%)と「保健婦・在宅訪問ヘルパーより」16事例(36.4%)との大きく2つに分かれている。その他の方法はほとんど見られない。また、これからの助成事業の利用者が多く潜在していると思われる病院関係の「病院の職員から」という事例も松原市の2事例に留まっている。「その他」の3事例を個々に見ていくと、豊中市の1事例は「各戸配布のパンフレットから。」、大東市の1事例は「訪問のPTより。」、松原市の1事例は「市の担当ワーカーより。」と、なっている。将来、この助成制度の利用者が増えてくると、かつて助成制度を利用した人からの情報伝達も期待できる。

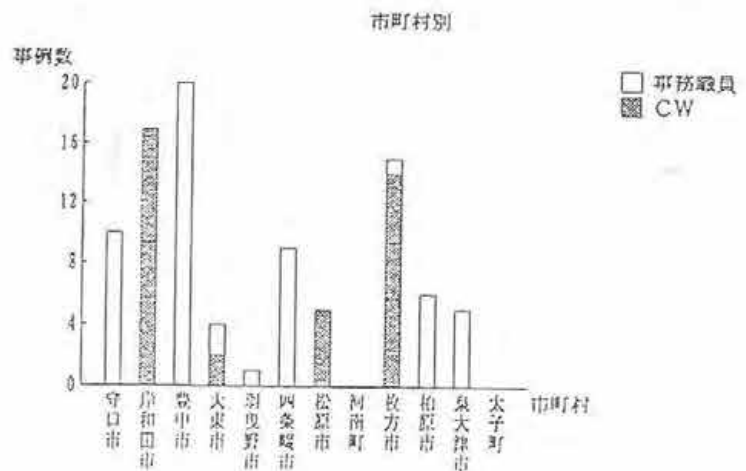
2-1-7 福祉・保健・医療・建築の連携状況

(A) 福祉関係者



□ 事務職員 54 58.7%

■ CW 38 41.3%



図表 7-A

市町村別 福祉関係者の関わり

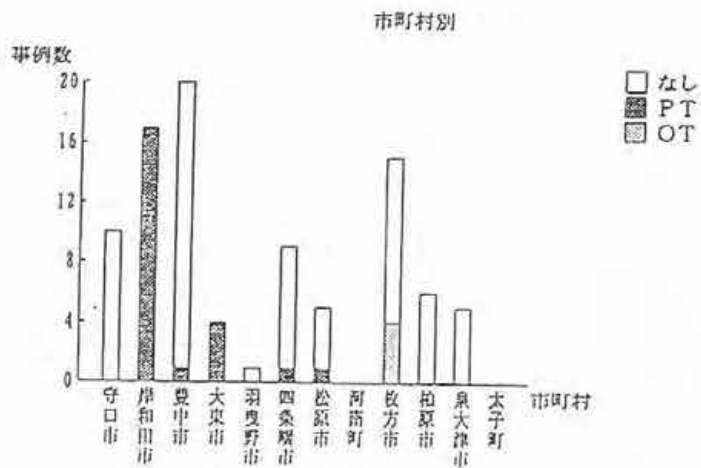
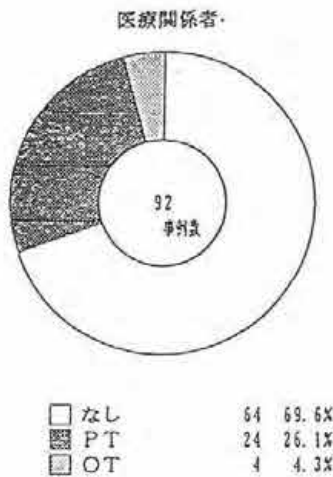
市町村	事務員	CW	計
守口	10	0	10
岸和田	0	17	17
豊中	20	0	20
大東	2	2	4
羽曳野	1	0	1
四条畷	9	0	9
松原	0	5	5
河南町	0	0	0
枚方	1	14	15
柏原	6	0	6
泉大津	5	0	5
太子町	0	0	0
計	54	38	92

〈不明：23〉(単位：事例)

図表7-A

福祉関係者の関わりを市町村別に見たのが図表7-Aである。事務職員の関わりが54事例(58.7%)となり半数以上を占める。岸和田市、松原市はCW (Case Worker) がすべてに関わっており、事業の充実度が見られる。

(B) 医療関係者



図表7-B

市町村別 医療関係者の関わり

市町村	なし	P T	O T	D r	M S W	その他	計
守口	10	0	0	0	0	0	10
岸和田	0	17	0	0	0	0	17
豊中	19	1	0	0	0	0	20
大東	0	4	0	0	0	0	4
羽曳野	1	0	0	0	0	0	1
四條畷	8	1	0	0	0	0	9
松原	4	1	0	0	0	0	5
河内町	0	0	0	0	0	0	0
枚方	11	0	4	0	0	0	15
柏原	6	0	0	0	0	0	6
泉大津	5	0	0	0	0	0	5
太子町	0	0	0	0	0	0	0
計	64	24	4	0	0	0	92

<不明：23>

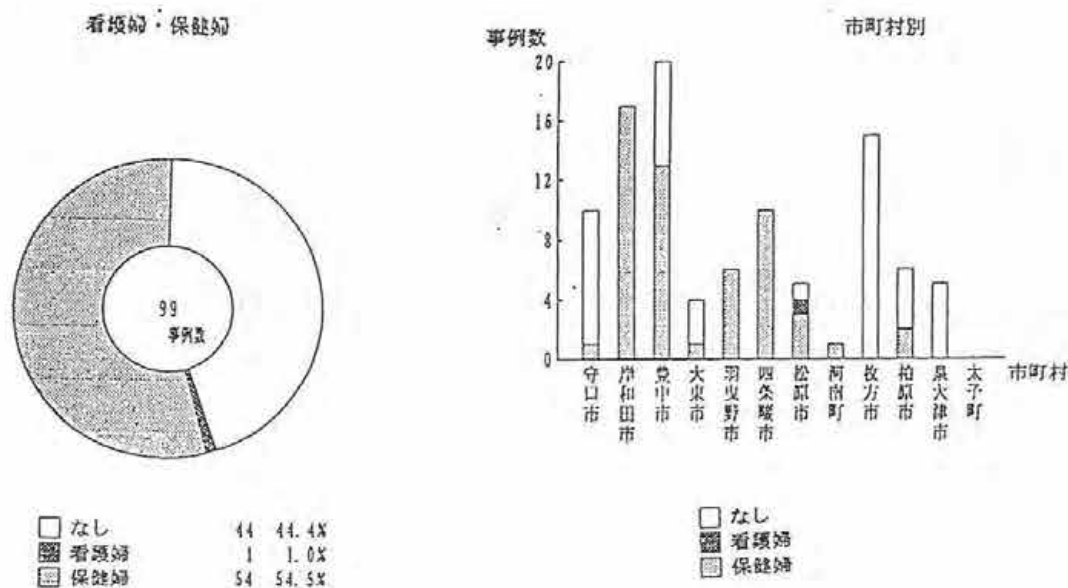
(単位：事例)

<ER:MSW(Medical Social Worker)>

図表7-B

医療関係者の関わりを市町村別に見たのが図表7-Bである。医療関係者が関わっている事例(30.4%)の中では、P T (Physical Therapist:理学療法士) が関わっている事例が24事例(26.1%)と最も多い。また、枚方市では、O T (Occupational Therapist:作業療法士) が4事例(4.3%)関わっている。市町村別の特徴として、岸和田市、大東市ではすべての事例で医療関係者が関わっている。

(C) 看護婦・保健婦



図表7-C

市町村別 看護婦・保健婦

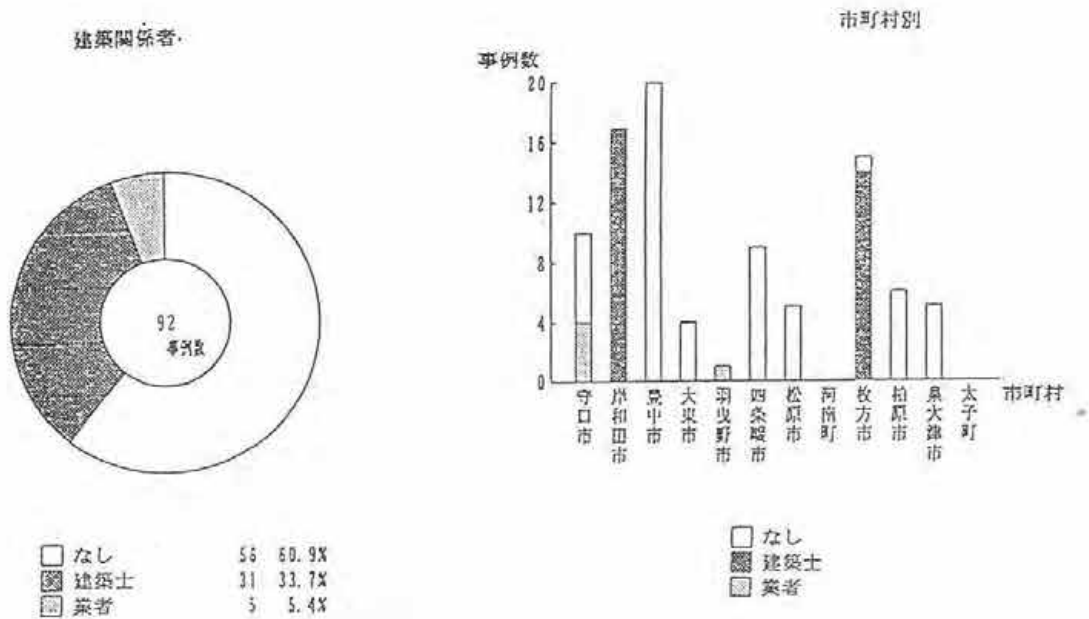
市町村	なし	看護婦	保健婦	計
守口	9	0	1	10
岸和田	0	0	17	17
豊中	7	0	13	20
大東	3	0	1	4
羽曳野	0	0	6	6
四條畷	0	0	10	10
松原	1	1	3	5
河南町	0	0	1	1
枚方	15	0	0	15
柏原	4	0	2	6
泉大津	5	0	0	5
太子町	0	0	0	0
計	44	1	54	99

<不明:16> (単位:事例)

図表7-C

看護婦・保健婦の関わりを見たのが図表7-Cである。全事例の中では、保健婦がほとんどで44事例(54.5%)である。看護婦が関わっている事例は、松原市の1事例だけであった。市町村別の特徴として、枚方市、泉大津市では看護婦・保健婦が全く関わっていない。

(D) 建築関係者



図表7-D

市町村別 建築関係者

市町村	なし	建築士	業者	その他	計
守口	6	0	4	0	10
岸和田	0	17	0	0	17
豊中	20	0	0	0	20
大東	4	0	0	0	4
羽曳野	0	0	1	0	1
四條畷	9	0	0	0	9
松原	5	0	0	0	5
河内町	0	0	0	0	0
枚方	1	14	0	0	15
柏原	5	0	0	0	6
泉大津	5	0	0	0	5
太子町	0	0	0	0	0
計	56	31	5	0	92

<不明：23> (単位：事例)

図表7-D

建築関係者の関わりを市町村別に見たのが図表7-Dである。建築関係者が関わっている事例(39.1%)の中では、建築士(枚方市は「住宅相談員」)の関わりが33.7%であり、業者(民間の工務店等)が5.4%である。市町村別の特徴として、岸和田市ではすべての事例で建築士が関わっており、枚方市でもすべての事例で住宅相談員が関わっている(不利益)。建築士の関わりはこの2つの市に偏っていることがわかる。

(E) その他

市町村別 その他

市町村	なし	あり	計
守口	10	0	10
岸和田	13	4	17
豊中	19	1	20
大東	4	0	4
羽曳野	1	0	1
四條畷	9	0	9
松原	3	2	5
河内町	1	0	1
枚方	15	0	15
柏原	4	2	6
泉大津	5	0	5
太子町	0	0	0
計	84	9	93

図表7-E

<不明：22> (単位：事例)

(A)～(D) でコードした職能以外で事業に関わった職能の数を市町村別に見たのが図表7-Eである。市町村ごとに個々に具体的に見ていくと、岸和田市の4事例と豊中市の1事例はホームヘルパーが関わっている。松原市の2事例は、「支援センター」の1事例と「デイ職員」の1事例である。柏原市の2事例は民生委員が関わっている。

(F) 改造事業に関わる職能の連携 (チーム形態)

市町村別 職能の連携 (チーム形態)

市町村	10000	10001	10010	10011	10100	10110	11000	11100	20000	20001	20010	20100	21000	21101	21210	21211	22010	30100	30101	計	
豊中	5	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
岸和田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	4	0	0	0	0	17
泉中	5	1	0	0	13	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
大塚	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
羽曳野	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
西条城	0	0	0	0	8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
松原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	5
河原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
枚方	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	4	0	0	0	15
柏原	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
黒木津	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
太子町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	17	3	1	4	22	1	2	2	1	1	9	1	2	1	13	4	4	1	1	39	2

<不明: 23>

(単位: 事例)

香・保

福祉 | その他

図表7-F

↓ ↓ ↓

5桁コード
の説明

万	千	百	十	一
の	の	の	の	の
位	位	位	位	位

↑ ↑

医療 建築

福祉関係者	医療関係者	看護婦と保健婦	建築関係者	その他
0:なし	0:なし	0:なし	0:なし	0:なし
1:事務職員 (=市職員)	1:P T	1:看護婦	1:建築士	1:あり
2: CW	2: O T	2:保健婦	2:業者	
(老人W)	3: D r		3:その他	
	4: M S W			
	5:その他			

改造事業に関わる職能の連携体制を5桁の数値で簡易的に表したのが図表7-Fである。チーム体制ごとに事例の多い順に見ていくと、{10200}（市職員+保健婦）の体制が22事例(23.9%)と一番多い。次に{10000}（市職員のみ）が17事例(18.5%)ある。そして、岸和田市にのみ見られる{21210}（CW+PT+保健婦+建築士）の体制が13事例(14.1%)、枚方市にのみ見られる{20010}（CW+建築士）の体制が9事例(9.8%)と続いている。

市町村別の特徴を見ると、岸和田市のチーム体制は揃っており（21210, 21211）、各職能の協力体制が整っている。また、一の位の「その他」を除く4桁が揃っている体制があるのも岸和田市しかない。逆に、前述したように市職員しか関わっていない事例が17事例(18.5%)あり、守口市、豊中市、柏原市、泉大津市に見られる。

2-1-8 住宅改造にかかった期間

(A) 受付日から改造検討開始日

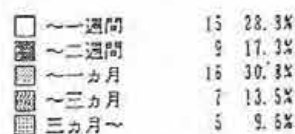
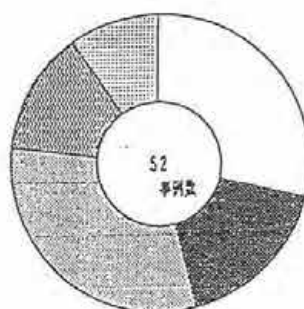
市町村別 受付日から改造検討開始日までの期間

市町村	1週間	2週間	1か月	3か月	3か月	計
守口	1	1	1	1	3	7
岸和田	0	2	1	2	0	5
豊中	3	2	1	0	0	6
大東	3	0	0	0	0	3
羽曳野	0	0	0	0	0	0
四条畷	1	1	0	0	0	2
松原	1	0	4	0	0	5
河内町	2	0	1	0	0	3
枚方	0	1	7	1	2	11
柏原	0	2	1	3	0	6
泉大津	4	0	0	0	0	4
太子町	0	0	0	0	0	0
計	15	9	16	7	5	52

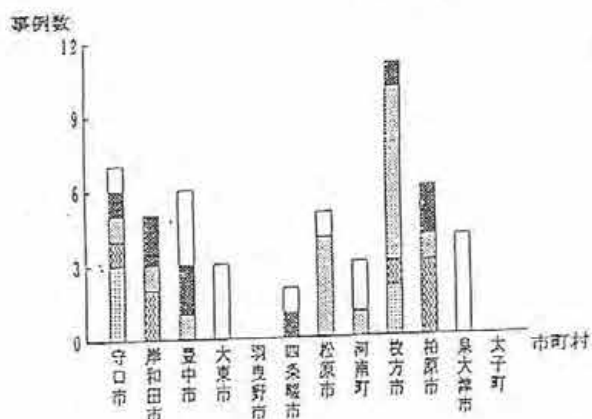
<不明：63>

(単位：事例)

受付日～改造検討開始日



市町村別



図表8-A

助成事業を利用したいという希望を市役所で受け付けた日から、実際に改造検討に入るまでの期間を市町村別に見たのが図表8-Aである。各市町村の住宅改造に対する取組み体制の違いにもよると思われるが、1週間以内が15事例(28.8%)ある。1か月以内まで見ると76.9%となり全体の約3/4を占める。一番多い期間が(2週間-1か月)の16事例(30.8%)であった。

市町村別の特徴としては、比較的期間が短い傾向なのが豊中市、大東市、四條畷市、泉大津市である。比較的期間が長い傾向なのが守口市、岸和田市、枚方市、柏原市である。

(B) 検討開始日から工事完了日

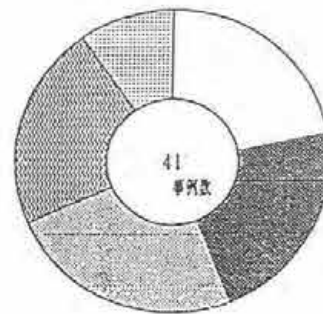
市町村別 検討開始日から工事完了日までの期間

市町村	2週間	1か月	2か月	3か月	3か月	計
守口	4	1	2	0	0	7
岸和田	0	0	0	0	1	1
豊中	0	2	2	2	0	6
大東	1	1	1	0	0	3
羽曳野	0	0	0	0	0	0
四條畷	1	0	1	0	0	2
松原	0	0	0	0	0	0
河南町	0	2	1	0	0	3
枚方	2	1	0	5	3	11
柏原	0	0	2	2	0	4
泉大津	1	2	1	0	0	4
太子町	0	0	0	0	0	0
計	9	9	10	9	4	41

<不明：74>

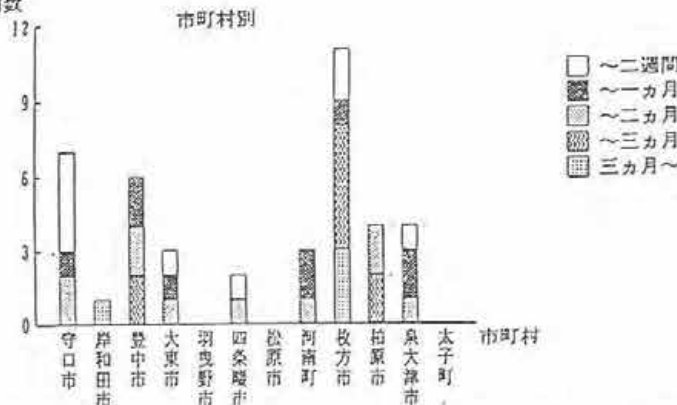
(単位：事例)

検討開始日～工事完了日



～2週間	9	22.0%
～1か月	9	22.0%
～2か月	10	24.4%
～3か月	9	22.0%
三か月～	4	9.8%

事例数

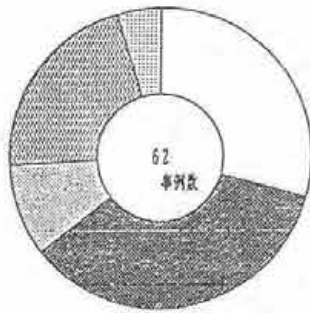


図表8-B

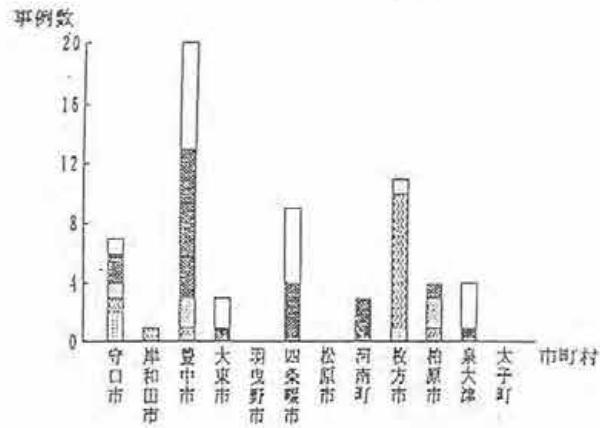
改造箇所検討開始日から工事完了日までの期間を市町村別に見たのが図表8-Bである。2週間以内が9事例(22.0%)であり、1か月以内までが44.0%となり約半数を占める。市町村別の特徴として、比較的短い期間なのが守口市、大東市、泉大津市である。枚方市では短い期間のもの長い期間のものが両極端に見られる。

(C) 受付日から工事完了日

受付日～工事完了日



□	～一か月	18	29.0%
■	～二か月	22	35.5%
▨	～三か月	6	9.7%
▩	～四か月	13	21.0%
▪	四か月～	3	4.8%



□	～一か月
■	～二か月
▨	～三か月
▩	～四か月
▪	四か月～

市町村別 受付日から工事完了日までの期間

市町村	1か月	2か月	3か月	4か月	4か月～	計	
守口	1	2	1	1	2	7	
岸和田	0	0	0	1	0	1	
豊中	7	1	0	2	1	0	20
大東	2	1	0	0	0	3	
羽曳野	0	0	0	0	0	0	
四条畷	5	4	0	0	0	9	
松原	0	0	0	0	0	0	
河南町	0	3	0	0	0	3	
枚方	0	0	1	9	1	1	
柏原	0	1	2	1	0	4	
泉大津	3	1	0	0	0	4	
太子町	0	0	0	0	0	0	
計	18	22	6	13	3	62	

<不明: 53>

(単位: 事例)

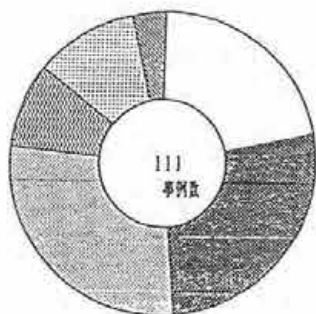
助成事業を利用したいという希望を市役所で受け付けた日から、工事が完了した期間(すなわち、(A)+(B)の期間)を市町村別に見たのが図表8-Cである。1か月以内というのが18事例(29.0%)しかない。2か月以内まで見ると18+22=40事例(29.0+35.5=64.5%)となる。3か月以上の長期間に渡る事例が13+3=16事例(21.0+4.8=25.8%)も見られる。市町村別の特徴として、比較的短い期間なのが豊中市、四条畷市、河南町、泉大津市であり、比較的長い期間なのが守口市、枚方市、柏原市である。ただ、改造内容によってかなり期間が変わってくると思われ、統計だけで単純に比べられない。

図表 8 - C

2-1-9 改造費用と改造費用負担意志・改造負担能力

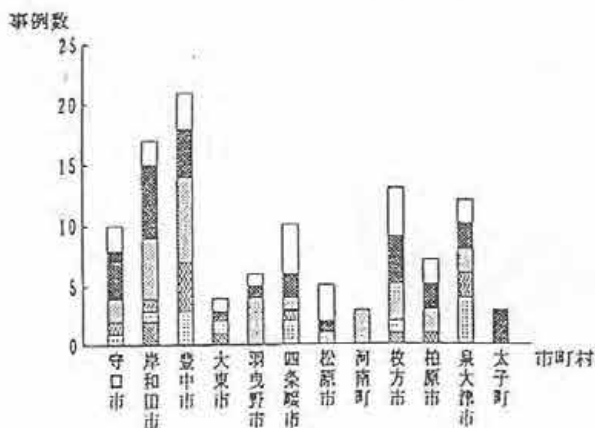
(A) 改造費用

改造費用



□ ~30万	24	21.6%
■ ~50万	30	27.0%
▨ ~70万	31	27.9%
▩ ~100万	10	9.0%
▪ ~200万	12	10.8%
▫ 200万~	4	3.6%

市町村別



□ ~30万	~50万	~70万	~100万	~200万	200万~
--------	------	------	-------	-------	-------

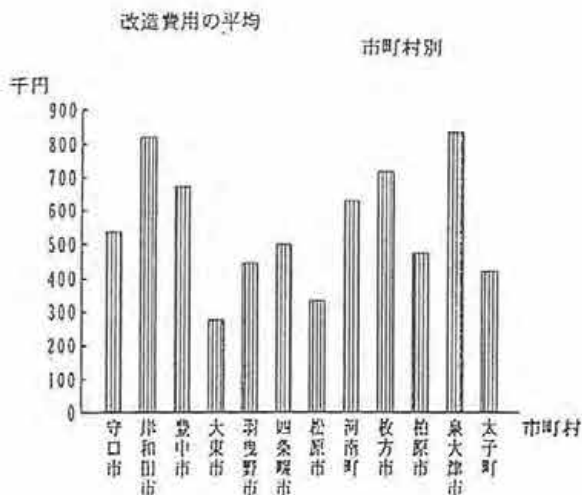
市町村別 改造費用

市町村	~30万	~50万	~70万	~100万	~200万	200万~	計
守口市	2	4	2	1	1	0	10
岸和田	2	6	5	1	1	2	17
豊中	3	4	7	4	3	0	21
大東	1	1	1	0	0	1	4
羽曳野	1	1	4	0	0	0	6
四條畷	4	2	1	1	2	0	10
松原	3	1	1	0	0	0	5
河南町	0	0	3	0	0	0	3
枚方	4	4	3	0	1	1	13
柏原	2	2	2	1	0	0	7
泉大津	2	2	2	2	4	0	12
太子町	0	3	0	0	0	0	3
計	24	30	31	10	12	4	111

<不明: 4>

(単位: 事例)

改造費用の平均



図表9-A

改造費用を市町村別に見たのが図表9-Aである。大阪府で規定している助成金50万円（豊中市は独自に70万円と規定）以内で改造費用が収まっているのが半数近くであり、50万円以上費用がかかっている事例が半数以上ある。市町村別の特徴を見ると、岸和田市、豊中市、泉大津市が比較的高額の傾向で、逆に守口市、四條畷市、松原市、枚方市、柏原市などは比較的少額の傾向である。

(B) 改造費用負担能力と改造費用負担意志

対象者の改造費用負担意志

市町村	+	±	-	計
守口	4	3	3	10
岸和田	8	6	2	16
豊中	7	6	0	13
大東	1	2	0	3
羽曳野	0	1	0	1
四条畷	3	3	2	8
松原	1	2	2	5
河南町	3	0	0	3
枚方	3	2	1	6
柏原	1	6	0	7
泉大津	2	0	3	5
太子町	0	0	0	0
計	33	31	13	77

<不明：38>(単位：人)

+(ある)	33	42.9%
±(ふつ)	31	40.3%
-(ない)	13	16.9%

対象者の改造費用負担能力

市町村	+	±	-	計
守口	4	3	3	10
岸和田	8	6	2	16
豊中	5	6	3	14
大東	1	1	1	3
羽曳野	0	0	1	1
四条畷	3	2	3	8
松原	0	1	4	5
河南町	3	0	0	3
枚方	3	3	1	7
柏原	0	0	7	7
泉大津	0	1	4	5
太子町	0	0	0	0
計	27	23	29	79

<不明：36>(単位：人)

+(ある)	27	34.2%
±(ふつ)	23	29.1%
-(ない)	29	36.7%

図表9-1B

EG (-能力) by EH (-意志)

EG	Count	EH			Row Total
		+	±	-	
+	1	27			27 35.1
±	2	2	19	1	22 28.6
-	3	4	12	12	28 36.4
	Column Total	33 42.9	31 40.3	13 16.9	77 100.0

図表9-2B

Number of Missing Observations: 38

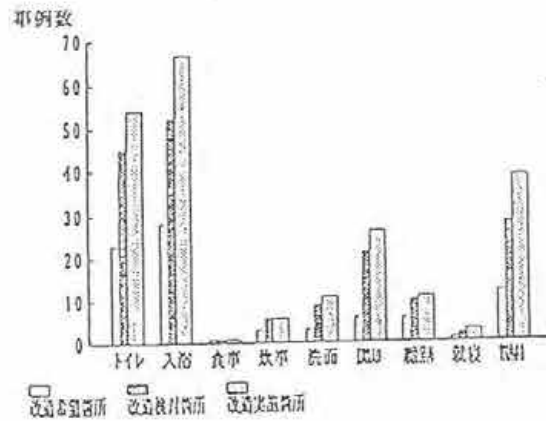
対象者が住宅改造にかかる費用を負担する能力と意志があるかどうかを3段階で評価し、市町村別に見たのが図表9-1Bである。費用負担意志について見ると、33人(42.9%)が「+(意志あり)」と答えている。費用負担能力の方を見ると、少し減って27人(34.2%)の人が「+(能力あり)」となる。また図表9-2Bは、横軸に「意志」をとり、縦軸に「能力」をとったクロス表である。ここで注目することは、“費用負担「能力」が低いのに「意志」がある”という人が多くいるということである。ここから、高齢者・障害者は住宅改造に対する関心が高いことが伺える。

2-1-10 改造希望箇所、改造検討箇所、改造実施箇所の統計

住宅改造希望・検討・実施箇所

	希望	検討	実施
トイレ	23	45	54
入浴(風呂)	28	52	67
食事	1	0	1
炊事	3	6	6
洗面	3	9	11
玄関出入口	6	21	26
階段昇降	6	10	11
枕蓆	1	2	2
家風内移動	12	28	39

(単位：事例)



図表 10-A

市町村別 改造実施箇所の事例数

市町村	トイレ	入浴	食事	服着脱	洗面	玄関出入	階段昇降	計
守口	6	3	1	0	1	2	2	15
岸和田	13	12	0	0	2	3	1	31
豊中	10	10	0	0	1	3	2	26
大東	0	4	0	0	1	0	0	5
羽曳野	4	2	0	0	1	2	0	9
四条畷	5	6	0	0	0	2	1	14
松原	1	3	0	0	1	3	0	8
河南町	2	2	0	0	0	1	2	7
枚方	5	8	0	0	0	8	3	24
柏原	4	3	0	0	1	2	0	10
泉大津	3	12	0	0	3	0	0	18
太子町	1	2	0	0	0	0	0	3
計	54	67	1	0	11	26	11	170

(単位：件)

図表 10-B

図表10-Aは、「住宅改造に際しての対象者本人の改造希望箇所」「市職員あるいは専門家を交えての改造検討箇所」「実際に行われた改造実施箇所」の3項目の統計を見た表である。(注:なお、この結果について、本来なら改造実施数より検討数の方が数値が高くなるはずだが、アンケートに無記入(記入もれ)が多いためこういう結果となった。)また、改造実施箇所の詳細を市町村別に見たのが図表10-Bである。住宅内で改造希望・検討・実施箇所が多い所として入浴(風呂場)、トイレ、家屋内移動、玄関出入口という順である。対象者が最低限の自立的生活を営みたいということへの希望が、この順番に表われていると思われる。また、別の特徴としてほとんどの場合、改造検討されれば改造実施されている結果となっている。これは前項2-1-7(B)でも述べたように、対象者の住宅改造に対する意識が高いことが伺える。

2-1-11 改造内容の概要

以下の図表は、改造箇所ごとにその改造内容の詳細を市町村別に見た表である。この項目は複数回答である。

(A) 図表11-Aは、「居室」の改造内容の詳細を市町村別に見たものである。表の結果を見ると、改造内容は5つの項目(床面のみの改造)に偏っているが、その目的は段差解消し部屋の行き来をスムーズにするものがほとんどと思われる。

市町村別 「居室」の改造内容(詳細) - 複数回答 -

市町村	床 畳→床	床の張 り替え	敷居の 取り除	スロ ープ	煙具の 変更	外出吐 の改善	電気 工事	その他	計
守口	2	1	1	1	0	0	0	1	6
岸和田	2	1	1	2	0	0	0	1	7
豊中	0	2	1	0	0	0	0	0	3
大東	1	0	1	0	0	0	0	0	2
羽曳野	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四条畷	0	1	0	0	0	0	0	0	1
松原	0	0	0	1	0	0	0	1	2
河南町	0	0	0	1	0	0	0	1	2
枚方	0	0	0	0	0	0	0	2	2
柏原	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉大津	0	0	0	0	0	0	0	0	0
太子町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	5	4	5	0	0	0	6	24

図表11-A

<不明:10>

(単位:事例)

(B) 図表11-Bは、「浴室」の改造内容の詳細を市町村別に見たものである。「浴室」は改造実施した事例が多く、改造内容の詳細も多種、多数となっている。手摺りの設置、浴槽・釜の取替えの事例数が多い。市町村別の特徴としては、岸和田市、豊中市、泉大津市などでは改造項目が多い傾向にある。

市町村別 「浴室」の改造内容（詳細） 一複数回答一

市町村	浴槽・釜の 取替え	浴槽・釜の 上げ下げ	スノコ 取付け	手摺り	洗面台 取替え	扉の 交換	浴室の 壁紙・床 取替え	照明器具 交換	その他	計
守口	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
岸和田	4	3	1	10	2	3	2	0	0	25
豊中	7	2	3	7	1	1	0	0	1	22
大東	1	2	0	3	0	3	1	1	1	12
羽曳野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四条畷	3	0	1	2	0	1	2	1	1	11
松原	1	3	0	1	0	2	0	0	1	8
河南町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
枚方	1	0	0	5	2	1	2	0	3	14
柏原	1	2	0	1	0	2	0	0	1	7
泉大津	5	4	1	4	1	0	1	2	1	19
太子町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	25	16	6	35	6	13	8	4	9	122

<不明：10>

(単位：事例)

図表11-B

(C) 図表11-Cは、「手洗い所」の改造内容の詳細を市町村別に見たものである。手摺りの設置、和式から洋式への変更が多くなっている。暖房便座で身体の冷えを防止し、ウォシュレットの採用で清潔度を高める。市町村別に見ていくと、岸和田市、豊中市で改造が多い傾向にある。

市町村別 「手洗い所」の改造内容(詳細) -複数回答-

市町村	和式一 様式	洋式-暖房便 座、ウォシュ	拡張	新設	床張替	扉交換 (レバー付)	手摺り	水洗金 具交換	その他	計
守口	3	0	0	0	3	0	6	0	1	13
岸和田	6	6	0	2	0	0	11	0	1	26
豊中	3	4	0	0	0	0	7	0	3	17
大東	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
羽曳野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四條畷	2	1	0	0	1	1	3	0	2	10
松原	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
河南町	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3
枚方	3	0	0	0	1	2	4	0	0	10
柏原	2	2	0	1	2	0	3	1	1	12
泉大津	1	1	0	0	0	0	1	0	1	4
太子町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	22	14	0	3	8	3	38	1	9	98

<不明:10>

(単位:事例)

図表11-C

(D) 図表11-Dは、「玄関など」の改造内容の詳細を市町村別に見たものである。同じような改造内容はグループに分けて見てみると{「段差解消の設置」、「踏み台」、「スロープ設置」}が3+1+7=11事例で一番多く、{「手摺」}が10事例、{「扉交換」}が6事例となる。市町村別に見ると、枚方市で改造を多く実施している。

市町村別 「玄関など」の改造内容（詳細） －複数回答－

市町村	段差解消の設置	踏み台	手摺り	補助 椅子	扉交換	スロープ 設置	通路の 変更	その他	計
守口	0	0	0	0	1	2	1	1	5
岸和田	0	0	1	0	0	1	1	1	4
豊中	0	0	0	0	0	0	0	1	1
大東	0	0	0	0	0	0	0	0	0
羽曳野	0	1	0	0	0	0	0	0	1
四条畷	0	0	3	0	0	0	0	0	3
松原	0	0	0	0	3	3	1	1	8
河南町	0	0	1	0	0	0	0	0	1
枚方	2	0	4	0	1	1	2	0	10
柏原	1	0	1	1	1	0	0	1	5
泉大津	0	0	0	0	0	0	0	0	0
太子町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	1	10	1	6	7	5	5	38

<不明：10>

(単位：事例)

図表11-D

(E) 図表11-Eは、「その他」の改造内容の詳細を市町村別に見たものである。階段・廊下の手摺りの設置や段差解消のためのカサ上げなどが多い。市町村別に見ると、岸和田市、枚方市に改造事例が多いようである。

市町村別 「その他」の改造内容(詳細) ー複数回答ー

市町村	階段 手摺り	廊下 手摺り	階段 手摺り	階段 段差	蛇口を バー式に 変更	非常用 照明	その他	計
守口	1	0	1	1	0	0	0	3
岸和田	4	2	1	0	0	0	0	7
豊中	0	2	1	0	0	0	0	3
大東	0	0	0	0	0	0	0	0
羽曳野	0	0	0	0	0	0	0	0
四條畷	0	1	1	0	0	0	0	2
松原	0	0	0	0	0	0	0	0
河南町	0	0	2	0	0	0	0	2
枚方	1	2	3	0	0	0	0	6
柏原	0	0	0	0	0	0	0	0
泉大津	0	0	0	0	0	0	0	0
太子町	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	7	9	1	0	0	0	23

図表11-E

< 不明 : 10 >

(単位: 事例)

—— (A)~(E)を見ていくと、そのほとんどは転倒防止、介助軽減を図るもの、家屋内移動の利便を目的としたものである。 ——